

12月1日は世界エイズデー

2017年世界エイズデーキャンペーン

テーマ「UPDATE! エイズのイメージを変えよう」

平成29年度は岐阜市内外の中学・高等学校、大学、専門学校から15枚のレッドリボンフラッグ作成の参加がありました。また、岐阜市も市民のみなさまからいただいたレッドリボンでフラッグを作成しました。レッドリボンフラッグは、岐阜市神田通りに展示しています。

それぞれ思いのこもった素敵なフラッグが完成しました。ご参加ありがとうございました。



〈厚見中学校〉

日本の現状としては認識が弱く、予防、治療が進んでいない。HIV感染、エイズ発症が年々増えている。私たち一人一人が関心を持ち、HIV/エイズに関する取り組みを進めていかなくてはいけない。日本全体でもっと真剣に考えていこうという願いで日本列島をレッドリボンで表現しました。また、シンボルマークであるレッドリボンを、平和の象徴である鳩が日本全体に広げることで、正しい知識と意識が高まり、「予防、治療、支援、理解」という具体的な行動がとれることを期待しています。

〈藍川北中学校〉

HIV感染者やエイズ患者が、常に前向きな姿勢で生きていってほしい、みんなと同じように楽しく生活を送ってほしいという願いを込めてデザインしました。

エイズのことについて、もっと興味を持ち、エイズにより苦しんでいる人も共に安心して生活できるような社会にできるように、少しでも協力しようという気持ちになってほしいです。

〈長森南中学校〉

治療の進歩によりHIV陽性者の生活は大きく変化しているなどの情報を正確に伝えることやエイズについて関心をもってもらうことの大切さを感じています。世界中の人が差別されることなく幸せな想いで生活できるようにとハート(心)に気持ちを込めました。

〈梅林中学校〉

この作品は、エイズのイメージを変えてみんなで助け合っていこうという思いで描きました。みんなで支え合って誰もが笑顔になれればいいなと思っています。

〈岐阜西中学校〉

真ん中のハートのいろいろな色は個人を表していて、いろいろな人がいるけれど皆一つなんだという意味です。HIV感染者やエイズ患者をみんなで支えていくという決意を、リボンと周りのハートで表しています。

〈本巣松陽高等学校〉

エイズに苦しんでいる人のためにも、エイズについての正しい知識を学び、差別・偏見なく、平等に暮らせるよう、みんなの幸せを願うあたたかい心を持つ、という思いを込めました。



〈加納高等学校〉

フラッグのデザインは保健委員の生徒が考案しました。エイズに苦しむ人々への理解の気持ちと、エイズに対する偏見や差別を持たず、皆が安心して生活できる社会になってほしいという願いを込めて作成しました。レッドリボンは、1年生の生徒が保健の授業の一環で作成し、保健委員が取り付けました。

〈済美高等学校〉

今回のフラッグは絵柄も決まったものにするのではなく、個々の思い描いた絵柄にしたことで、個性を生かしつつ、一体感のあるものになったと思います。そして、支えあい・助け合いが人の成長や進化、UPDATE…更新されていく意味合いを矢印に込め、その向上が人権が尊重される心豊かな社会の現実に向かっていくだろう願いを込めました。

一人でも多くのエイズの方々に思いが届くといいなと願っています。



〈岐阜県立看護大学
ピアサークル〉

エイズに対する知識が十分でない人が多く、「触れただけで感染する」や「空気感染する」など様々な間違った知識がある。私たちは、手をつなぐイラストをかくことでそれらの間違った知識をUPDATEしたいという思いからこの作品を作りました。



〈岐阜市立女子短期大学〉

今回のテーマから矢印を連想しデザインに取り入れしました。また、矢印の大きさを変えることにより幅広い層の年齢を表しました。このフラッグアートをきっかけに今回のテーマについて考えていただけると幸いです。



〈岐阜県立衛生専門学校〉

治療法の進歩によってエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになってきた。しかし、差別や偏見がまだあるため新しい情報を更新し、エイズのイメージを変えたいという思いをテーマに作りました。



〈岐阜市立看護専門学校〉

「エイズのイメージが変わってほしい」そんな皆の温かい思いでできたハートの中に、エイズに対する思いを書いたレッドリボンが、どんどん積もるようなデザインにしました。

エイズといえば、一般的には、原因不明で有効な治療法がなく、死に至るといったイメージがあるのが現状です。そのことが、エイズに対する差別や偏見を招いているのも事実です。

このフラッグのデザインのように、色々な人がエイズに対する正しいイメージを持ち、アップデートしてほしいと願いながら作成しました。



〈岐阜大学ピアカウンセリング同好会〉

私たち同好会の合言葉「LOVE OUR FUTURE」は、自分たちが自分たちの未来を愛せるように今を生きようという思いがあります。AIDSを発症した人も、HIVに感染した人もそうでない人も、みんなが自分たちの未来を愛せるようにという思いを込めて合言葉をレッドリボンのハートで包み込みました。協力してくれた岐阜大学や羽島高校のみんなの熱い思いが1つになった作品です。



〈岐阜市医師会看護学校〉

多くの人にエイズに対する正しい知識をもってもらいたい、勇気を出して検査を受けてもらいたい、1人でも悲しむ人を増やしたくないという想いで空色のハートと大きなリボンで製作しました。自分が学んだことや感じたことを大切な人に伝え、その大切な人にもレッドリボンにメッセージを書いてもらいました。



〈岐阜市医師会 准看護学校〉

今知られているエイズに対する知識を1人1人が改めることや正しい知識を身につけることが患者や差別を減らすことに繋がる様にと願いを込めました。みんなで作ったリボンのハートが上へ良い方向に向かっていくのを表現しました。



〈岐阜市〉

市民のみなさまからいただいたメッセージ入りのレッドリボンフラッグに飾りました。

エイズ情報は日々更新されています。治療の進歩でHIV感染者の予後も改善され、感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになっています。「UP DATE（更新）」し、正しい知識を持つことが、エイズへの偏見を持たないことにつながるものと思っています。